

冬道の事故防止 管理者の確かな点呼で事故防止

- 冬道走行は、『減速』と『十分な車間距離』の併用
- 視界不良時は、『乗用車は自分よりも見えていない』と考え、スピード調整を。

道内各地にブラックアイスバーン出現！ 峠で、橋で、カーブで、スリップ事故多発！

夕暮れ・夜間 歩行者、自転車の事故防止

～ 点灯せ！ 生死を分ける ハイビーム ～

- スピードダウンと安全確認を徹底しましょう
- 早めのライト点灯とハイビームの活用を励行しましょう
- 横断歩道以外の場所でも、歩行者が横断することを意識しましょう

「かもしれない」で備える 交差点事故防止

「自転車」と「歩行者」を見かけたら・・・「かもしれない」運転を

◆ 交差点・バック事故 止まらず ◆

- STOP！ 交差点事故 (前方不注意と車間距離)
- STOP！ バック事故 (特に、構内・駐車場・現場内)

要注意 危険がひそむ 交差点

◇ 交差点 右左折時は、確認を徹底しましょう◇

◇ 歩行者・自転車への注意を、徹底しましょう◇

◇ 追突事故・バック事故を、根絶させましょう◇

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

構内も停止するまで、運転中

無くなならない飲酒運転 死亡事故率は8倍にも

「捕まらなければ大丈夫」、「自分は大丈夫だろう」という、根拠のない自信

2019年1月20日 18:56

飲酒運転に対する厳罰化が実施されて久しいが、飲酒運転撲滅までの道のりはまだ長いのが現状だ。

「飲んだら乗るな」を実践して自分と他の人の身を守るよう努力すべきだろう。

毎年3,000件以上の飲酒運転に起因する交通事故があり、死亡率も高くなっているため注意が必要だ。

現在は呼気1リットル中のアルコール濃度が0.15ミリグラム以上0.25ミリグラム未満の酒気帯び運転で基礎点数13点、免許停止90日となり、アルコール濃度が0.25ミリグラム以上の場合には基礎点数25点、欠格期間2年の免許取消となる。アルコールの影響で正常に車両の運転ができないと判断される酒酔い運転では基礎点数35点、欠格期間3年の免許取消だ。この行政処分に加え、車両を運転した者、車両を提供した者、酒類を提供した者、車両に同乗した者にも刑事処分が科されることになった。飲酒運転が無くなならない背景には、多くの人が「捕まらなければ大丈夫」、「自分は大丈夫だろう」という根拠のない自信を持っていることがある。

しかし、わずかな飲酒でも運転手の判断能力や運転能力を低下させることが確認されている。

飲酒運転は重大な犯罪であり、他の人を巻き込む事故を起こすことも珍しくない。いついかなる時でも「飲んだら乗るな」を実践して自分と他の人の身を守るよう努力すべきだろう。

飲酒して危険運転 交差点、赤信号無視

はねられた高校生ら3人重傷 会社員の男(23)逮捕

「容疑を認めている」

◇ 違反だと・・・分かってやってる、『飲酒運転』 「飲酒運転は事故でなく犯罪」◇

2019/1/20(日) 20:26

19日午後1時ごろ、愛知県の交差点で信号無視した車が、車や自転車と衝突して3人が重傷を負いました。警察は20日、危険運転致傷などの疑いで会社員の男(23)を逮捕しました。警察の調べに対し、容疑者は容疑を認めていて、警察は事故に至った経緯を詳しく調べています。

右側の敷地に入ろうとして・・・

歩行中の高齢女性、軽乗用車にはねられ、意識不明の重体

◇ 右折して駐車場に入る場合は・・・十分に余裕を持って、直進車・歩行者に注意しましょう◇

2019/1/20(日) 19:23

20日午後1時すぎ、山形県の市道で、道路左側を歩いていた女性(76)が、対向し進行方向右側の敷地に入ろうとした軽乗用車にはねられ、意識不明の重体となっている。現場には、歩道はなかった。警察は車を運転していた女性(78)が、歩行者の動きをよく見ていなかったとみて調べている。